



平成20年7月15日

各位

会社名  乾汽船株式会社

代表者名 代表取締役社長 乾 新悟
(コード番号 9113 東証・大証第一部)

問合せ先 取締役経理部長 阿部 健二
電話 03(3548)3273

(訂正)「平成20年3月期 中間決算短信」の一部訂正について

平成19年11月9日に発表いたしました表記開示資料について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

4. 中間連結財務諸表の内容の訂正

24頁 (6)注記事項 ⑩開示の省略(デリバティブ取引)

2. 訂正箇所(訂正箇所は____罫で表示しております)

【訂正前】

- ⑦セグメント情報
- ⑧1株当たり情報
- ⑨重要な後発事象
- ⑩開示の省略

デリバティブ取引、ストック・オプション等に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

【訂正後】

⑦デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

複合金融商品関連

対象物の種類	取引の種類	前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)			当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)			前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		契約額等 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)	契約額等 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)	契約額等 (千円)	時価 (千円)	評価損益 (千円)
市場取引以外の取引	複合金融商品その他	200,000	187,790	△12,210	200,000	198,560	△1,440	200,000	190,900	△9,100
合計		200,000	187,790	△12,210	200,000	198,560	△1,440	200,000	190,900	△9,100

- (注) 1. 時価については、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。
2. 評価は測定可能ですが、組込デリバティブを合理的に区分して測定できないため、当該金融商品全体を時価評価し、評価損益を営業外費用に計上しております。
3. 契約額等には、当該複合金融商品の購入金額を記載しております。
4. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

- ⑧セグメント情報
- ⑨1株当たり情報
- ⑩重要な後発事象

⑪開示の省略

ストック・オプション等に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略します。

以上